

会議の名称	平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議
開催日時	平成29年6月30日(金) 午前・ 午後 1時30分から 午前・ 午後 3時00分まで
開催場所	職員厚生室
出席者	審議会 ：青木会長、鳥羽委員、飯野委員、木村委員、池田委員、 谷田委員、渡部委員、小林委員 事務局 ：山下部企画財政部長、笠原企画課長、折茂課長補佐、 船樹主査、福島主事補
欠席者	審議会 ：江原副会長、金井委員、矢野間委員、太田委員
議題 (次第)	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ 4 議 題 (審議事項) 平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書(案) 5 その他 6 閉 会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議次第 ・第5次本庄市行政改革審議会委員名簿 ・平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書〈訂正後〉 ・【資料1】平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書(案)に対する意見並びに回答 ・【資料2】平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議資料 ・【資料3】本庄市の財政状況の概要 ・【資料4】本庄市総合振興計画後期基本計画(概要版) ・【資料5】次期本庄市行政改革大綱及び実施計画(平成30年度～平成34年度)の策定に向けて (事前配布) ・平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書(案)
主管課	企画財政部企画課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日は、お忙しい中、第1回本庄市行政改革審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画課長の笠原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>次第の2番になりますが、今回審議会委員の交代がございましたので委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>本来であれば、市長より委嘱状の交付をさせていただくところでございますが、本日、市長が所要により出席できないことになりまして、大変申し訳ございませんが、企画財政部長より交付させていただきます。</p> <p>こちらでお名前をお呼びしますので、その場でお立ちいただきまして、委嘱状をお受けいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>本庄市自治会連合会 鳥羽 孝夫 様</p> <p>(委嘱状の交付)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、欠席の委員につきましては、本日の審議会の報告とあわせて事務局より、後日、委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>それでは、次第の3番、開会のご挨拶を青木会長よりいただきたいと思います。</p>
青木会長	<p>皆様こんにちは。非常に蒸し暑い中、また足元の悪い中、本日は足を運んでいただき誠にありがとうございます。本年第1回の審議会ということで、それぞれ説明がございしますが、忌憚ない意見を出していただき、充実した審議会になるようお願い申し上げます。簡単ではありますが、あいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>

<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日は、平成29年度第1回目の審議会でございますので、ここで委員の皆様から、自己紹介をいただきたいと思っております。</p> <p>(委員自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>引き続きまして、事務局でございますが、企画財政部長より順に自己紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>(事務局職員 自己紹介)</p> <p>それでは、事務局から報告と配布資料の確認等をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本日江原副会長、金井委員、矢野間委員、太田委員より欠席のご連絡を受けておりますので、ご報告いたします。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日机の上に配布させていただいたものとしまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の次第 ・平成29年度本庄市行政改革審議会委員名簿 ・平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（計画番号第31号、第33号、第34号〈訂正後〉） ・【資料1】平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案）に対する意見並びに回答 ・【資料2】平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議資料 ・【資料3】本庄市の財政状況の概要 ・【資料4】本庄市総合振興計画後期基本計画（概要版） ・【資料5】次期本庄市行政改革大綱及び実施計画（平成30年度～平成34年度）の策定に向けて <p>以上8点でございます。よろしいでしょうか。</p> <p>また、事前に郵送させていただきました資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案） <p>でございます。</p> <p>資料の不足等はございませんでしょうか。</p> <p>次に、「審議会の運営方法について」説明いたします。</p> <p>会議については、原則として公開とし、傍聴人の入室を認めます。会議録の調製及び会議録の公開については、議事の要旨及び</p>
-----------------------	---

	<p>発言者の氏名を記載した会議録を作成し、これを皆様を確認していただき、会長に署名をいただいた後、インターネット上で公開いたします。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきますが、議事の進行につきましては、本庄市行政改革審議会設置条例第4条第2項により、会長が議長となつて行うこととなっております。</p> <p>これからの議事の進行につきましては、青木会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>会長が会議の議長を行うということでございますので、この後の議題につきまして、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議題に入らせていただきます。</p> <p>審議事項「平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案）」について事務局から説明をお願いします。なお、資料は事前に配布されていますので、説明はできるだけ簡潔にお願いいたします。それではよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (課長補佐)	<p>それでは、審議事項「平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案）」についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、【資料1】「平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案）に対する意見並びに回答」をご覧ください。委員の皆様事前に意見募集をさせていただいたところ、2件のご意見をいただきました。</p> <p>(・【資料1】「平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書（案）に対する意見並びに回答」に基づき、意見に対する担当課からの回答を説明)</p> <p>【資料1】に関する説明は以上です。</p>
議 長	<p>ただいま事務局からの説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたら、ぜひ、積極的なご発言をお願いします。</p> <p>ないようでしたら、事務局は説明を続けてください。</p>
事務局 (船樹主査)	<p>それでは、お手元に配布させていただきました、【資料2】「平成29年度本庄市行政改革審議会第1回会議資料」、また、【資料3】「本庄市の財政状況の概要」を基にご説明させていただきます。</p> <p>実施計画の数が多いので、前回の審議会では、「行政サービスの質の維持・向上」、「行政サービスの提供方法の見直し」、「健全な財政運営」の3つの基本方針の中から2つずつ取組み事例を挙げてご説明させていただきましたが、今回は次期行政改革の取組</p>

	<p>みについて皆様からご意見をいただくにあたり、特に重要な要素のうちの一つ、「健全な財政運営」に関する項目で、前回触れなかった本庄市の財政状況についてご説明させていただきたいと思えます。</p> <p>(・資料に基づき、本庄市の財政状況を簡潔に説明し(【資料2】1～9ページまで)、続いて、次期行政改革の在り方について説明【資料2】10～15ページ)</p>
議長	<p>ただいま事務局からの説明がありましたが、ここまでのご意見、ご質問がございましたら、ぜひ、積極的なご発言をお願いいたします。</p>
渡部委員	<p>財政についてお聞きしますが、高齢化が進む中で、例えば、夫婦のうち、厚生年金をもらっている人が先に亡くなった場合、市の歳入等の関係について、そのような統計データを把握しているのかお伺いしたいと思います。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>これから一番心配になってくるのが、少子高齢化についてです。渡部委員からお話があったように、高齢者の中でこれから収入がない方が増えてくることが考えられます。市の助成が必要になり、市の負担が大きくなっていくということが課題であるという認識があります。そういった方々がどれくらいの規模で広がっていくのかという調査は現状ではまだできていませんが、現在急速にまちなかで高齢化が進んでいるというところから、そういった福祉的な調査を行うことがこれからの課題です。</p>
渡部委員	<p>高齢になると、収入がないのに医療費がかかってきます。例えば長野県では、健康保険の負担を軽くするために県民が一体となって取組みを始めています。本庄市も高齢者が健康ならば健康保険料も減ってきます。このことに対して、意識している、目に見えている活動を行っているようにも見えませんが、行政改革の中の大きい柱で、健康に長生きできるようにという内容を定めてはいかがでしょうか。</p> <p>また、最近外国人の方が増えていますが、外国人の方にも医療費を払っていますし、固定資産の問題や空き地が増えていくことについての問題等、少子高齢化に向けてのシミュレーションをした方がいいのではないのでしょうか。他のまちにはない魅力の本庄市に取り入れていただきたいと思います。</p> <p>また、本庄市は個人が出すゴミの量が県で2番目に多く、火災報知器の設置率が県で1番悪いということがあられるようです。</p>

	<p>高度医療を他市から呼び込むという話もお聞きしましたが、そういったことをこれからの将来構想に入れて夢をつくっていったらどうかと思っています。</p>
議長	<p>本庄市は10年前から健康維持に関する取り組みを行っています。健康保健センターを充実させるために移転し、できるだけ健康保険の負担を減らそうとしています。しかし、先ほど渡部委員からお話のあった、高齢化が進む中で、市の歳入と歳出のバランスについては調べられていない気がしていますが、企画財政部長、どうでしょうか。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>本庄市の中での財政シミュレーションという、生産年齢人口が減ることで市税収入に対してどのような影響がでてくるのかという財政収支見通しというものを作っています。しかしながら、個人のご家庭での支出のバランスにつきましても、どのように調査するのか難しいところがありますので、なかなかできていないという現状があります。こういったことをある程度見通していかないと市の財政に跳ね返ってくる可能性がありますので、これから研究していきたいと思っています。</p>
渡部委員	<p>生活保護を受け取っている人が年々増えており、医療費が無料であることを考えると市の歳出が増えていくことが考えられます。このことについてシミュレーションを行い、市の広報等でお知らせしていくことはどうでしょうか。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>生活保護については、これまでの動きとこれからの推計というものを生活自立支援課で行っていますが、それぞれの家庭内のことについてはどのように調査をするのが難しいため、まだ行っていないという現状があります。生活保護についてはこれから大きな負担増になってくるという見通しはあります。</p>
渡部委員	<p>個々の家庭についてはわからなくても、傾向については調査できるのではないのでしょうか。例えば、65歳以上の市民税を支払っている人の傾向を調べることができると思います。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>【資料2】 10ページのグラフの中で、右上がりになっているものが2つあります。75歳以上人口と65歳から74歳人口です。その他につきましては軒並み減少してしまっていて、渡部委員のおっしゃる通り、深刻な問題であります。</p> <p>また、出産適齢期と言われる女性の年齢は20歳から40歳くらいまでと言われていています。この年齢の人口が減ってきているというところにも大きな問題があると考えています。5歳の子供を今から増やすことは不可能ですので、これから生まれる子供の数を増やしていくしかありません。そのことから、今後人口が減っ</p>

	ていくことは覚悟しなければならない問題であると考えています。大変深刻な問題ですので、しっかりと考えていかなければならない問題であると思います。
議長	他にご意見はございますか。
鳥羽委員	物事に取り組むには問題と課題があり、行政改革についても達成目標が数値化されていて良いと思いますが、民間企業のようにその問題、課題を解決する際の金額的メリットがどのようになっているのかについて数値化できるものはした方がいいのではないかと思います。市民サービス等の数値化できないものについては、満足度等のアンケートをとるなどして数値化し、評価するという方法があると思います。このように金額的メリットについて考えることについて、どのように考えますか。
事務局 (企画財政部長)	資料の平成28年度本庄市行政改革大綱実施計画取組報告書(案)の18ページをご覧くださいますと、行政サービスの提供方法の見直しという中で、指定管理者制度の導入を進めていくというところがあります。これを見ていただきますと、導入したことによって市の歳出が削減されたというデータがでています。指定管理者をすべて導入することが必ずしも良いというわけではなく、市が運営した方がいい場合もあり、一概にはいえることができませんが、このあたりについてもご意見を伺いながら指定管理者を導入し、できる限り経費を削減できたらいいと思っています。
議長	行政は民間企業と違い、赤字、黒字ということよりも、できるだけ安く市の施設を市民の方に利用していただくなどの行政サービスを行っていくものです。民間企業でいう採算が合う、合わないとは違う一面があると思います。 他にご意見はございますか。
小林委員	総合振興計画をこれから進めていかれることと思いますが、県北の周りの市も含め、どの市も決定的なものがないように思います。だからこそ、どの市にもチャンスがあるのだと捉えることができます。ときがわや東秩父では民間の力を借りてシティプロモーションをしています。どの市にもいえることですが、これから新たなモデルを作っていくということが今求められていることであり、その中でも行政改革がこのことを一番実現できるところであると考えています。先ほど鳥羽委員もおっしゃったように民間企業は金額的なメリットが大切であります。行政では例えば施設を見せるということは金額的なメリットはありません。しかしながら、人々が満足できるということが大切であり、ここを支えにするしかないのではないかと思います。

議 長	<p>【資料2】で見ると、歳入面は、市税が111億、歳入合計は353億ということですが、その差額は補助金や交付金で成り立っています。少子高齢化が進むにつれ、財政面に与える影響も大きく、これから考えていかなければならない課題であると思います。</p> <p>他にご意見はございますか。</p>
鳥羽委員	<p>行政改革審議会というのは他の市町村にもあり、それぞれの課題があって取り組んでいることと思います。事務局が他の市町村と交流することで、様々なアイデアを吸い上げることができるのではないのでしょうか。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>【資料5】「次期本庄市行政改革大綱及び実施計画（平成30年度～平成34年度）の策定に向けて」に示されているように、国から行政改革の取り組みについて助言がされています。また、担当の方でも埼玉県で比較的進んでいるようなところ、あるいは全国的にも進んでいるようなところがどのような行政改革に取り組んでいるのか調べているところです。今はインターネットで情報を得ることができますので、比較研究しながらこれからもやっていきたいと思っています。</p>
木村委員	<p>旧本庄商業銀行煉瓦倉庫についてですが、2階のスペースの使い方が非常にもったいないと思います。フロアが広いので区切って複数の団体に貸しても良いと思います。また1年は市の直営とのことですが、民間でしたらおしゃれなカフェを作るとか検討されるのではないのでしょうか。民間の活力を活用するということは大事なことですので、もっと施設の使い方を考えていただきたいと思います。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>煉瓦倉庫については色々な使い方ができると思います。施設を活用していく中で、使っていただいた皆さんの意見を集約しながら検討を進めていくことが大事だと思います。おそらく担当課もそのことについて考えていると思います。お話いただいた件につきましては担当課の方にお伝えさせていただきます。</p>
議 長	<p>他にご意見等ございませんか。</p> <p>ないようでしたら、これで本日の議題は終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>皆様には慎重審議大変ありがとうございました。また、議長を務めていただきました青木会長には御礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の5番のその他ですが、事務局から連絡がございま</p>

	す。
事務局 (折茂補佐)	<p>それでは、今後のスケジュールですが、次回審議会を8月下旬頃に予定しておりまして、その中で、次期本庄市行政改革大綱の内容や考え方について、皆様にご意見をお伺いしたいと考えております。</p> <p>また、本日ご審議していただきました、平成28年度取組報告書につきましては、9月号の広報ほんじょうに掲載を予定しております。また、ホームページにもできる限り早めに掲載させていただく予定です。</p> <p>報告は以上です。</p>
事務局 (企画課長)	それでは、閉会にあたりまして青木会長よりごあいさつをいただきたいと思っております。
青木会長	本日はお忙しい中、皆様に慎重なご審議と、貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。本庄市行政改革審議会第1回会議を閉会といたします。ありがとうございました。
事務局 (企画課長)	以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

会 長

青木清志